

## 希望会利用者の声

### 1) 希望会の活動が参加施設にどのように受け入れられているか

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満	無記入
施設数	7 31%	9 40%	4 18%	0 0%	0 0%	2 9%

(アンケート回収率 45%)

### 2) 利用の仕方

希望会の活動は施設による参加のため、病院以外には作業所とデイケアの参加が多い。病院はスポーツ、文化事業と全般的に参加しています。施設外との交流、リハビリの治療活動の延長、患者さんの目標目的意識の動機付けになっている。

作業所やデイケアは作品展やバザーに力を注いでいます。社会参加として捉えている。

希望会の行事に向けての取り組みは、年間を通じて活動に取り入れていたり、大会の前に準備をしたり、またメンバー中心にやっているところなど施設によってかなり違ってきます。

### 3) みんなの声 (原文のとおり)

#### \* 希望展見学者アンケート (当事者)

○はじめてきましたがとても素敵な作品が多く、来年は私も出店したい。

○精神科疾患のもので、素晴らしい作品を書く者がいてびっくり感動しました。

○絵を描く一つの目標になります。いつまでも続けてください。

#### \* 希望会活動のアンケート (医療、福祉関係者)

#### (1) 希望会活動の参加理由

○大会に向けての練習であり目標があって取りくめるため、参加メンバーにも刺激となり、視野を広げてもらう良い交流の場となっているため、参加させていただいています。

○患者様が楽しみにしている事もあり院外へ出ていける良い機会であるため。

#### (2) 大会に向けての活動計画

○バザーに向けて最近では「今年のバザーは〇〇を作って出そう」とメンバーから声上がる。

○大会当日より2ヶ月前位から、プログラム、その他の時間を利用し練習に取りくんでいます(週2回程)。

○希望展に七宝焼作品(共同作品)を出品していますが、月1回講師と話し合い1年かけて作っています。

#### (3) 心に残ったエピソード

○バザーは、参加した者から接客が楽しかったと嬉しそうだったのが印象的でした。

希望展は、展示に向けてメンバーが熱心に作品を作り、受付も担当して意欲的だったのが印象的でした。

○施設のメンバーが一体となって取り組んでいる感覚をおぼえることがあります。

参加するメンバー同士はもちろん、他のメンバーも応援というカタチで。

○希望会の長い年月の活動により、長期入院の患者様や、古くから通院している患者様にとって、希望会活動が年間行事として定着しており、社会参加のモチベーションを向上させていること。

○スポーツの大会に出るとい事でデイケア、病棟の患者様が同じ目的で練習し協調性が出てきた事。

日頃の入院生活の中で、ADL自立できていない人が、希望会という病院外のひとつの社会に出ることで、病院内では見られないようなスキルや表情がみられ、我々リハビリテーションを担う職員にとって、ひとりひとりの患者様の新たな可能性を発見できる。